



第12号

鶴見民児協だより

令和6年4月発行 鶴見区民生委員児童委員協議会 会長 小林 政晴 鶴見区鶴見中央 3-20-1 ☎045-510-1791

こんにちは 民生委員・児童委員、主任児童委員です

地域と関係機関のつなぎ役

福祉に関する様々なご相談をお受けし、関係機関につなげたり、相談窓口や支援サービスをご紹介します。

身近な見守り役

地域の状況を把握し、支援が必要な方が地域で安心して暮らせるよう、定期的に訪問しています。

地域福祉のボランティア

地域から選ばれ、皆さんが安心して暮らせるようお手伝いをするボランティアです。

ちい“き”
だよ

何の木？

民児協とは？

「民生委員児童委員協議会」の略で、民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を推進するための団体です。

※民生委員・児童委員は、困りごとなどを“直接”解決することはできませんが、解決に向けたお手伝いをしていきますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせは、鶴見区役所 福祉保健課 運営企画係 電話：510-1791 FAX：510-1792

民生委員・児童委員は地域の“つなぎ役”

民生委員・児童委員、主任児童委員ってどんな人なの？

民生委員・児童委員は、地域の方々の身近な相談相手として、支援が必要な方を行政や専門機関へとつなぐ“つなぎ役”で、無償で活動する非常勤の地方公務員です。

民生委員・児童委員のなかで、子どもや子育てを専門に担当するのが「主任児童委員」です。

鶴見区では、自治会町内会等から推薦され、厚生労働大臣から委嘱を受けた333(うち主任児童委員は33)人※が、担当地域ごとに様々な活動をしています。※ 令和6年1月1日時点

相談したことが他の人に知られたりしないの？

「民生委員法」で、その職務を遂行するに当たっては、個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守ることが義務付けられています。

相談内容に限らず、活動中に知り得た個人情報も守秘義務の対象ですので、安心してご相談ください。

どんな活動をしているの？

相談・見守り

- 介護、子育てなど、福祉に関する様々なご相談をお受けし、関係機関につなげたり、ご紹介しています。
- 日頃から、地域の状況を見守り、福祉的な支援が必要な「気になる方」がいたら、支援につなげています。

高齢者支援

- ひとり暮らし高齢者等のお宅を定期的に訪問する「見守り」の活動を行っています。
- 地域で行っている食事会や配食サービス、気軽に参加できるサロンなど、地域の方と一緒に高齢者の支援を行っています。

子ども・子育て支援

- 地域で行っている子育て広場の支援をしたり、出産や子育てに悩むお母さんからの相談を受けたりしています。
- いじめや虐待への対応について、学校や児童相談所、区役所などと連携しています。



お受けできない相談もあります

- ・身の回りの世話をしてほしい・・・
- ・お金を貸してほしいのですが・・・
- ・子どもを預かってほしいのですが・・・
- ・保証人になってほしいのですが・・・
- ・救急車に同乗してほしいのですが・・・
- ・近隣トラブルの仲裁をしてほしい・・・

民生委員・児童委員は、お困りごとを“直接”解決できません。

関係機関におつなぎできない場合、相談をお受けできないこともあります。



民生委員・児童委員に聞いてみました!

駒岡地区 村上 宮子さん 2期目(4年目)

Q民生委員になったきっかけは？

A 同町内会の民生委員が退任することになり町会長から声がかかりました。はじめは、民生委員の活動が分からず、町会の婦人部の活動もあるため、家を留守がちになることへ家族の協力が得られるか心配でした。

Qどのような活動をしていますか？

A 前委員さんの引継ぎを経て、月に一度3名の見守りの方を訪問し状況などをお聞きしています。コロナ禍を経て今は電話での対応となっています。きらく会という月一度の昼食会の参加を呼びかけています。定例会、地区センターの催し等への参加を心がけています。

Q活動の中でやりがいを感じた出来事等がありますか？

A 「いつもありがとうね」と言われる言葉になんとなく、「ほっこり」とした感情になったことです。

上末吉地区 鈴木 みな子さん 3期目(7年目)

Q民生委員になったきっかけは？

A 自治会役員から声がかかったのですが、その頃は孫の誕生をきっかけに仕事を辞した時期でした。仕事を辞めても、社会との関わりがあった方が良いと思い、引き受けました。

Qどのような活動をしていますか？

A 毎月、地区の民児協の定例会で情報交換を行ったり、社会福祉協議会との連携で開催する高齢者の食事会に参加します。また、見守り対象の方への訪問、研修、自治会行事等にも参加しています。

Q活動の中でやりがいを感じた出来事等がありますか？

A 見守りや、調査のために訪問させていただく時などに、ねぎらいの言葉をかけてくださった時などは、とてもありがたいと思います。

地区紹介

鶴見区民生委員児童委員協議会（区民児協）は、17の地区民生委員児童委員協議会（地区民児協）から構成されています。今号では、**矢向**、**市場**、**市場第二**、**鶴見中央**、**潮田中央**、**潮田東部**、**潮見橋**、**潮田西部**の8地区と**主任児童委員**の活動をご紹介します。

矢向地区（矢向・江ヶ崎地区）

—ミンジーのベストを着て民生委員活動！—

矢向地区では、主な活動として、高齢者や子育て世帯の見守りや訪問、住民からの心配事などについて相談に応じています。相談内容によっては、矢向地域ケアプラザの包括支援センター、区役所等様々な関係機関との連携を図っています。

矢向地区の民生委員・児童委員は、現在35名と、鶴見区でも一番多く活動しております。今年、PRを兼ねて、横浜市版民生委員・児童委員キャラクター「よこはまミンジー」のオレンジ色のベストを作りました。

そのベストを着て、小中学校の入学時におけるあいさつ運動、地域の盆踊り大会、クリーンキャンペーン、赤い羽根共同募金、ひとり暮らし高齢者の配食等の活動をしております。

少しでも皆様に民生委員・児童委員のことを知っていただければと日々思いながら活動しております。



よこはまミンジーのオレンジベスト



赤い羽根共同募金活動の様子

市場地区

—全てのつながりと連携を大切に—

市場地区の中での主任児童委員の活動紹介をさせていただきます。各種委員会、研修への参加はもちろんの事ですが、地域のお祭り・運動会・防災訓練・子ども会行事など大小にかかわらず行事に参加して子育て世代の保護者や子どもたちから何か問題があった時に声かけや相談しやすい環境・雰囲気づくりを心掛けています。そのためには地区の民生委員との関係性もとても大切だと考えています。先日は市場地区民児協メンバーで4年ぶりの研修旅行に行っていました。研修を経て委員同士の距離も縮まり、より和気あいあいと活動出来ていると感じます。

また年に1度の市場中学校区 学校・主任児童委員連絡会では市場中学校・平安小学校・市場小学校の先生方・区の担当者・主任児童委員とで地域の中で起こっている子どもたちの現状の情報共有・意見交換を行っています。

各方面、委員会や地域の方々との日頃の関係構築の中で、常にアンテナを張り市場の子どもたちを見守り活動しています。



市場地区民児協研修旅行（令和5年6月18日）



民生委員・児童委員のPR活動の様子

市場第二地区

—はじける笑顔があふれる市場第二—

市場第二地区は、今年で創立150周年の市場小学校を中心に共に歩んできた下町です。工場跡地が大規模集合住宅になり人口が急増し、小学校は分校もでき総勢1550人と横浜市屈指のマンモス校です。付近に商業施設も進出し、生活は便利で活気ある地域です。

一方、車両の往来も多くなり、高齢者や児童には危険も増え注意が必要になってきました。

今年からコロナ禍も明け、地区のイベントも多数開催され、地区民児協総勢19名も積極的に参加し、笑顔があふれるまちづくりに取り組んでいます。

— 地域活動 —

- * 鶴見市場地域ケアプラザ・・・ゆうづる「夏まつり」
- * 障害者地域活動ホームもとみや・・・もちつき大会、秋祭り
- * ひとり暮らし高齢者配食会（各町会、年1回）
- * 市場第二地区青少年音楽祭（幼児～成人）

— その他 —

- 各町会での餅つき会
- オール市場運動会
- 熊野神社祭礼
- 三町合同盆踊り（市場小学校校庭）
- 市場第二地区グラウンドゴルフ



三町合同盆踊りの様子



市場第二地区定例会の様子

鶴見中央地区

—安心、元気、やさしい、つながるまちづくり—

鶴見中央地区は共同住宅が多い町で、安心やつながる町をめざして、知識向上のための研修会実施や見守り活動をしています。

ひとり暮らしの高齢者の方や高齢者世帯を対象に配食サービスを月3回行っています。鶴見中央地域ケアプラザ調理室で調理ボランティアの方々が調理し、元気な方は運動をかねて受け取りに来られていますが、美味しいお弁当を民生委員が見守り活動を兼ねて配達をしています。また、児童に対する活動として、障害のある方の外出をサポートするガイドボランティアという横浜市独自の制度がありますが、主任児童委員が週2回ほど、学校から自宅まで安全に楽しく付き添いをして生徒や家族との信頼関係を築いています。

3歳以下のお子さんには、鶴見中央地域ケアプラザで、周辺の保育園の協力による出張保育「さくらんぼの会」が月1回開催され、委員も楽しくお手伝いをしています。



調理ボランティアの方々



鶴見中央地区の民生委員・児童委員

潮田中央地区

— 元気 礼儀 根気 —

潮田中央地区は、3町会の連合でできています。民生委員が6名と少ないため、会議や合同の事業に全員参加で取り組んでいます。

★日々の活動

高齢者の見守り訪問、心配ごとの相談に対応しています。高齢者の対応は民生委員が元気でないといけません。また、目上の方への礼儀も必要です。また、あきらめないで根気よく接することも大切なことで、いつも相手の身になって考えたいと思っています。

★研修

今年度はコロナも下火になり、研修会を行いました。見学先は「よこはま東部ユースプラザ」と言うところで、登校拒否やひきこもりの子ども一人ひとりの不安や悩みに合わせ、専門のスタッフが相談に応じ、社会参加に向けたサポートをする施設です。施設で元気に過ごす方たちを見て、地域のパイプ役である民生委員・児童委員として、施設に行くきっかけづくりをできればと思いました。

★イベント

潮田公園では、毎年12月にランタンフェスタを行っています。地元の団体やグループが参加して作品を、作り盛り上げており、今年は暖かく、たくさんの方にご参加いただきました。

近年、USHIODAフェスタを行っています。6か所のコーナー（環境・防災・健康・多世代交流・スポーツ・軽食）を設けており、とても楽しいフェスティバルですので、皆様の参加をお待ちしております。



よこはま東部ユースプラザでの研修会の様子



潮田公園のプール点灯の様子

潮田東部地区

— 元気いっぱい頼れる潮田東部主任児童委員 —

こんにちは 潮田東部地区民児協です。

私たち潮田東部地区は14町会の民生委員17名・五十嵐さん、本間さんの2名の主任児童委員の19名で活動しています。

今回は民生委員・児童委員・主任児童委員の中でも、子ども、子育てを専門に担当している地区の主任児童委員についてご紹介します。

民生委員は子どもに関する問題や相談を受けると主任児童委員に相談し、良い方法を教えてもらい、専門機関と地域の方の「橋渡し」として関係機関へ繋ぎます。

主任児童委員の活動は、養護施設の見学会、地区懇談会の参加、主任児童委員定例会（連絡会）に出席、あいねっとや社会を明るくする運動講演会への参加、地域の行事への参加などです。子育て支援「すくすく東部」には担い手として民生委員と一緒に活動しています。

民生委員は決められた担当地区の訪問活動をしています。主任児童委員は担当地区を持たず、2名で地区全体を見守っています。人数は少ないですが、元気いっぱい、子どもに関する知識が豊富です。

潮田東部地区には安心して頼れる主任児童委員がおります。子ども、子育てに関するお悩みもお気軽にご相談ください。



地区定例会の様子



潮田東部地区の民生委員・児童委員

潮見橋地区

－声かけでつなぐ地域の絆づくりを広げよう！－

潮見橋地区の民生委員・児童委員、主任児童委員は7町会15名で構成され、概ね毎月最終月曜日に「潮見橋地区民児協定例会」を行い、地域の絆づくりを支援する様々な活動について話し合い、取り組んでいます。ご相談等ありましたら地域の民生委員・児童委員、主任児童委員に連絡願います。

また、毎月第三火曜日には0歳児から3歳児とその保護者を対象として「潮見橋ちびっ子広場」を下野谷一・二丁目自治会館で開催しています。保育園の先生との交流会、プール遊び、運動会、クリスマス会等、皆でおしゃべりしながらお子さんと楽しく遊びます。

これからも、地域と協力して高齢者訪問や子育て支援、障がい者家庭の確認など、地域福祉推進に少しでも貢献できるように頑張っていきます。



潮見橋地区の民生委員・児童委員



ちびっ子広場の様子

潮田西部地区

－声かけで「顔が見える・声が聞こえる」活動－

潮田西部地区では、5町会を5名の民生委員と2名の主任児童委員とで地域の福祉活動に取り組んでいます。

少人数ですが、少数精鋭で仲良く活動しています。地域もあまり広域ではなく、昔からの下町風情がまだ残り、歩けば多くの知り合いにお会いすることも多く、民生委員児童委員協議会の活動としてもやりやすい地域環境です。

毎月の定例会を軸に各研修会への参加、年1回の福祉施設見学会を実施し、知識向上に努めています。

福祉活動として、高齢者世代は地区社協主催の「高齢者昼食会」「ひとり暮らし高齢者見守り配食事業」やバスツアー、小学校の個別支援ボランティア、休み明けの登校見守りなど、子育て世代は「おのしおキッズ」などに中心に関わり、「顔が見える・声が聞こえる」福祉活動に取り組んでいます。



潮田西部地区の民生委員・児童委員



定例会の様子

主任児童委員

— 鶴見区主任児童委員です！ —

現在私たちは、男性 7 名、女性 26 名と横浜市の中でも男性委員が多く、全 33 名で意欲的に活動しています。

主に子どもや子育て家庭の支援を行っており、区、学校、関係機関等と連携し、支援の窓口へつなぐ役割を担っています。また、子どもを取り巻く様々な問題の早期発見、解決に向けて活動しています。

各地区、各委員で内容は異なりますが、私たちの活動をいくつかご紹介します。

<活動例 1>

例年、つるみ子育て・個育ちフォーラムの会場整備や手作りコーナーの補助を受け持ってきました。コロナ禍でフォーラムの開催形態が変わってからは、主に開催場所の地区を担当している委員が当日の運営スタッフとして活動しています。運営委員会では、区内の様々な子育て支援団体から体験談や意見を伺えます。

<活動例 2>

担当する地区で、子育てサロンのボランティアスタッフとして運営を受け持っています。保育士さんの手遊び・参加者同士の交流等ゆったりと過ごせるように考えています。参加者とスタッフは子育て相談など含めて気楽に雑談しています。



子育てサロンの様子



鶴見区主任児童委員

フェスティバルでの PR 活動

* 三ツ池公園フェスティバル (令和 5 年 5 月 20 日)

* つるみ臨海フェスティバル (令和 5 年 10 月 21 日)

民生委員・児童委員の存在や活動を広報するため、お声掛けをしながら啓発用ティッシュを配布しました。民生委員活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。

PR 活動参加委員の声

4 年振りに開催された三ツ池公園フェスティバルで、26 名の民生委員と共に PR 活動を行いました。既に、お住まいの地域で民生委員と関わりのある方々からは、日頃のお礼と励ましの言葉をいただきました。また、若い世代の方々には、いつか子育て等を通して関われる日を楽しみにポケットティッシュを配布しました。ひとりでも多くの方に、一番身近な相談相手の民生委員を知っていただく良い機会となりました。

(生麦第二地区 堤 のぶ子さん)

つるみ臨海フェスティバル当日、青空のもと 20 数名の民生委員でタスキを掛け、ポケットティッシュを配布し PR 活動に努めました。会場の入船公園は、多くの催し、出品店で賑わう中、色々な年代の方に声掛けをしました。中には関心を寄せて下さる方も何人かいました。今回の活動が民生委員の知名度向上になる事を期待します。

(生麦第一地区 角田 恵子さん)



三ツ池公園フェスティバルでの PR 活動の様子



つるみ臨海フェスティバルでの PR 活動の様子

研修報告

初任者研修(令和5年8月25日午前・午後)

令和元年度及び4年度の一斉改選で民生委員に委嘱された方を対象とした研修に、合計113名が受講しました。

鶴見区社会福祉協議会、区役所職員による業務説明では、さまざまなご相談から適切な関係機関への“つなぎ役”として必要なことを学びました。広報研修部会の先輩民生委員による、見守り対象の方への訪問時の寸劇では、お声かけの方法、雰囲気づくりの方法について学びました。



研修受講中の様子

寸劇を演じた先輩委員の声

訪問活動寸劇で民生委員役を担当しました。

声かけの際の雰囲気づくりが大切なことを再確認しました。相手の気持ちに寄り添い誠意を持って話すことで「この人になら相談できそう」と思ってもらえたら嬉しいです。

(寺尾第二地区 中西 忍さん)

研修を受講した新任委員の声

寸劇、先輩民生委員との意見交換、活動記録の書き方などの具体的な例をあげた説明が分かりやすかったと思います。民生委員・児童委員は全ての人のいろいろな時に関わる活動をしているのだと感じました。

(寺尾地区 平川 由美子さん)



見守り対象の方への訪問時の寸劇

見守り3事業研修(令和5年9月8日)

コロナ下で延期が続いていた研修が、3年越しの開催となり、延べ43名の民生委員が参加しました。

民生委員活動の中で大きな位置を占める「定期訪問」、「ひとり暮らし高齢者等の見守り訪問」、「災害時要援護者支援事業」の3つの事業について、仕組みや活動方法について改めて学びました。

研修参加委員の声

見守り対象者の個人情報と徹底した管理のもとで活動を行いますが、守秘義務を厳守し、救うべき人を確実に救えるように、地域独自の支援の流れを各自把握し活動するなかで、対象者との関係づくりの大切さを改めて実感しました。

(豊岡地区 川橋 奨子さん)

「地域の見守り」に携わる民生委員が会場いっばいに集い、活発な意見交換がなされました。災害時に助けを必要とされている方を把握出来たら、その情報は災害時はもちろん、日常の活動にも活かし、地道につながりをつくっていくことで、緊急時の命のバトンにつながるのかなと思っています。

(下末吉地区 小幡 國子さん)



研修受講中の様子

編集後記

今年度の広報・研修部会は、グループワークを取り入れ、進行方法も変わりました。鶴見区では初めての8ページの広報誌を発行することになりました。更に、「初任者研修を受けて」などの記事を広報部員が担当し、より充実した広報を目指しています。また、研修では、広報部員による寸劇や参加者からの質問に部員がその場で回答するなど、新しい取り組みをしました。今後ともわかりやすい広報活動に努めてまいります。

(広報・研修部会長 皆川 慈保)

●広報・研修部会員

皆川慈保(部会長)・倉本英子(矢向)・小泉京子(市場)・成田秀信(市場第二)・磯田栄治(鶴見中央)・飯泉稔(潮田中央)・小西賀子(潮田東部)・松本勝己(潮見橋)・大島清乃(潮田西部)・木村節子(小野町)・服部美子(生麦第一)・堤のぶ子(生麦第二)・川橋奨子(豊岡)・平川由美子(寺尾)・中西忍(寺尾第二)・村上宮子(駒岡)・鈴木みな子(上末吉)・小幡國子(下末吉)

(令和5年度に交代された部会員)

河野正(潮田西部)・角田恵子(生麦第一)